



2025年12月期 第1四半期決算短信〔 I F R S 〕（連結）

2025年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 ヤマハ発動機株式会社

コード番号 7272

URL <https://global.yamaha-motor.com/jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 設楽 元文

問合せ先責任者 (役職名) 経営計画部長

(氏名) 八木 太造

(TEL) 0538-32-5013

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績 (2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	625,947	△2.5	43,569	△44.1	45,405	△41.0	33,974	△44.0	30,672	△45.2	△8,960	—
2024年12月期第1四半期	642,065	5.9	77,966	2.7	77,009	5.7	60,706	14.8	55,973	12.7	102,669	48.4

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2025年12月期第1四半期	31	47	31	45
2024年12月期第1四半期	56	61	56	57

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	2,804,766	1,177,232	1,117,845	39.9
2024年12月期	2,783,501	1,226,586	1,161,569	41.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2025年12月期	—				
2025年12月期(予想)		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

		売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属する 当期利益		(注)表示は、対前期増減率		基本的1株当たり当期利益	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭			
通期		2 700 000	4.8	230 000	26.7	140 000	29.5	144.18			

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、2025年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。連結業績予想の「基本的1株当たり当期利益」については、自己株式の取得の影響を考慮しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	1,026,354,101株	2024年12月期	1,026,354,101株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	57,019,195株	2024年12月期	48,790,119株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	974,677,378株	2024年12月期 1 Q	988,816,139株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき、当社が合理的であると判断した見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経営環境の変化、市場の需要動向、為替の変動等のリスク、不確実性等の要因により、大きく異なる可能性があります。リスク、不確実性等の要因に関する詳細は、当社が公表している最新の有価証券報告書をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算の連結経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算の連結経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

以下の分析については、「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (表示方法の変更)」及び「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報) 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、遡及・組替後の前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結財務諸表及びセグメント情報の数値を用いて説明しています。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上収益は6,259億円（前年同期比161億円・2.5%減少）、営業利益は436億円（同344億円・44.1%減少）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は307億円（同253億円・45.2%減少）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の為替換算レートは、米ドル153円（前年同期比4円の円安）、ユーロ161円（前年同期と同じ）でした。

売上収益は、ベトナムやブラジルにおける二輪車の販売台数が減少した結果、減収となりました。営業利益は、二輪車の販売台数の減少やコア事業の研究開発費の増加、人件費などの販売費及び一般管理費の増加により減益となりました。

セグメント別の概況

〔ランドモビリティ〕

売上収益3,881億円（前年同期比195億円・4.8%減少）、営業利益278億円（同248億円・47.1%減少）となりました。

MC事業について先進国の販売台数は、欧州主要国の需要が減少した結果、前年を下回りました。新興国については、ベトナムにおいてエンジン打刻不良による一時的な生産・出荷停止の影響により、販売台数が減少しました。加えて、ブラジル、インドの販売台数が減少した結果、新興国の販売台数は前年を下回りました。この結果、全体の販売台数は前年を下回り、減収となりました。営業利益は、販売台数の減少や新興国通貨安による調達コストの上昇、研究開発費や人件費などの販売費及び一般管理費の増加により減益となりました。

SPV事業（電動アシスト自転車、e-Kit、電動車椅子）では、国内向け電動アシスト自転車及びe-Kitの販売台数が増加した結果、増収となりました。一方、営業利益は、前年同期の未実現利益に関する一過性影響により、減益となりました。

〔マリン〕

売上収益1,402億円（前年同期比17億円・1.2%減少）、営業利益198億円（同57億円・22.3%減少）となりました。

船外機の販売台数は、米国やアジア、その他地域での需要が減少した結果、前年を下回りました。ウォータービークルについては、主要市場である米国の需要は前年並みとなりましたが、当社の販売台数は前年を下回りました。この結果、マリン事業全体では減収となりました。営業利益は、ウォータービークルの販売台数の減少や研究開発費や人件費などの販売費及び一般管理費の増加により減益となりました。

〔アウトドアランドビークル〕

売上収益414億円（前年同期と同じ）、営業損失42億円（前年同期：営業損失13億円）となりました。

RV事業（四輪バギー、レクリエーション・オフハイウェイ・ビークル(ROV)）では、需要は前年を下回りましたが、当社の販売台数は増加し、売上収益は増収となりました。一方、モデルミックスの悪化により減益となりました。

LSM事業（ゴルフカー）では、需要は好調であった前年から減少し、主要市場である米国を中心に当社の販売も減少した結果、減収・減益となりました。

〔ロボティクス〕

売上収益244億円（前年同期比52億円・27.3%増加）、営業損失14億円（前年同期：営業損失37億円）となりました。

サーフェスマウンターは、主要市場である中国の需要増加にともないアジアにおける販売台数が増加した結果、全体の販売台数は増加しました。一方、産業用ロボットの販売台数は先進国を中心に減少しました。半導体製造後工程装置は引き続き生成AIや先端パッケージ向けの需要が伸長し、販売が増加しました。これらの結果、ロボティクス事業全体では増収、営業損失は前年より縮小しました。

〔金融サービス〕

売上収益278億円（前年同期比9億円・3.3%増加）、営業利益41億円（同21億円・33.8%減少）となりました。

売上収益は、販売金融債権の増加にともない増収となりました。営業利益は、前年同期に発生した金利スワップ評価益が当期は評価損に転じた結果、減益となりました。

〔その他〕

売上収益41億円（前年同期比10億円・19.9%減少）、営業損失24億円（前年同期：営業損失11億円）となりました。

なお、各セグメントの主要な製品及びサービスは、以下のとおりです。

セグメント	主要な製品及びサービス
ランドモビリティ	二輪車、中間部品、海外生産用部品、電動アシスト自転車、電動アシスト自転車ドライブユニット（e-Kit）、電動車椅子、自動車用エンジン、自動車用コンポーネント
マリン	船外機、ウォータービークル、ボート、漁船・和船
アウトドアランドビークル	四輪バギー、レクリエーション・オフハイウェイ・ビークル、ゴルフカー
ロボティクス	サーフェスマウンター、半導体製造後工程装置、産業用ロボット、産業用無人ヘリコプター
金融サービス	当社製品に関わる販売金融及びリース
その他	発電機、汎用エンジン、除雪機

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末比213億円増加し、2兆8,048億円となりました。流動資産は、販売金融債権の増加や営業債権及びその他の債権の増加などにより同672億円増加しました。非流動資産は、為替の影響による固定資産の減少や販売金融債権の減少などにより同459億円の減少となりました。

負債合計は、社債及び借入金増加や営業債務及びその他の債務の増加などにより同706億円増加し、1兆6,275億円となりました。

資本合計は、配当金の支払244億円、自己株式の取得100億円、四半期利益340億円などにより同494億円減少し、1兆1,772億円となりました。

これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は39.9%（前期末：41.7%）、D/Eレシオ（ネット）は0.59倍（同：0.50倍）となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

税引前四半期利益454億円（前年同期：770億円）や減価償却費及び償却費213億円（同：205億円）、営業債務及びその他の債務の増加237億円（同：26億円の増加）などの収入に対して、販売金融債権の増加635億円（同：607億円の増加）や営業債権及びその他の債権の増加399億円（同：370億円の増加）などの支出により、全体では481億円の支出（同：120億円の支出）となりました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

ヤマハ株式会社の株式売却による収入110億円などがありましたが、有形固定資産及び無形資産の取得による支出281億円（前年同期：293億円の支出）などにより、164億円の支出（同：321億円の支出）となりました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

配当金の支払、自己株式の増加などによる支出がありましたが、短期借入金の増加などにより651億円の収入（前年同期：562億円の収入）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間のフリー・キャッシュ・フローは645億円のマイナス（前年同期：441億円のマイナス）、現金及び現金同等物の四半期末残高は3,608億円（前期末比：122億円の減少）となりました。当第1四半期連結会計期間末の有利子負債（リース負債を除く）は1兆160億円（同：641億円の増加）となりました。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)		
	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2025年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	372,999	360,756
営業債権及びその他の債権	178,186	212,237
販売金融債権	372,582	407,403
棚卸資産	574,105	565,873
その他の金融資産	53,154	56,952
その他の流動資産	57,338	72,310
流動資産合計	1,608,368	1,675,533
非流動資産		
有形固定資産	486,844	473,263
のれん及び無形資産	77,468	76,686
持分法で会計処理されている投資	36,822	37,368
販売金融債権	367,709	354,255
退職給付に係る資産	31,357	28,090
その他の金融資産	84,827	69,649
繰延税金資産	74,768	81,534
その他の非流動資産	15,334	8,383
非流動資産合計	1,175,133	1,129,232
資産合計	2,783,501	2,804,766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2025年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	149,922	163,062
社債及び借入金	680,330	739,173
未払法人所得税	8,174	14,969
未払費用	90,604	80,435
引当金	55,428	54,338
その他の金融負債	71,637	58,195
その他の流動負債	91,763	112,217
流動負債合計	1,147,861	1,222,391
非流動負債		
社債及び借入金	271,643	276,854
退職給付に係る負債	55,182	52,524
引当金	2,031	2,095
その他の金融負債	39,427	38,193
繰延税金負債	13,979	9,562
その他の非流動負債	26,789	25,911
非流動負債合計	409,053	405,142
負債合計	1,556,915	1,627,533
資本		
資本金	86,100	86,100
資本剰余金	63,375	63,472
利益剰余金	979,188	983,315
自己株式	△54,064	△64,064
その他の資本の構成要素	86,969	49,020
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,161,569	1,117,845
非支配持分	65,017	59,387
資本合計	1,226,586	1,177,232
負債及び資本合計	2,783,501	2,804,766

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上収益	642,065	625,947
売上原価	△430,896	△428,956
売上総利益	211,168	196,990
販売費及び一般管理費	△138,302	△155,174
その他の収益	4,722	2,220
その他の費用	△1,430	△2,107
持分法による投資損益	1,808	1,639
営業利益	77,966	43,569
金融収益	4,442	5,130
金融費用	△5,399	△3,293
税引前四半期利益	77,009	45,405
法人所得税費用	△16,302	△11,431
四半期利益	60,706	33,974
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	55,973	30,672
非支配持分	4,733	3,301
四半期利益	60,706	33,974
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	56.61	31.47
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	56.57	31.45

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期利益	60,706	33,974
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	591	△1,989
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	3,435	△1,687
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	—	△0
合計	4,026	△3,676
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	37,197	△38,115
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	738	△1,142
合計	37,936	△39,257
その他の包括利益合計	41,962	△42,934
四半期包括利益	102,669	△8,960
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	95,020	△9,378
非支配持分	7,648	418
四半期包括利益	102,669	△8,960

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計		
2024年1月1日残高	86,100	64,146	946,106	△61,389	40,810	1,075,774	58,585	1,134,359
四半期利益	—	—	55,973	—	—	55,973	4,733	60,706
その他の包括利益	—	—	—	—	39,047	39,047	2,914	41,962
四半期包括利益	—	—	55,973	—	39,047	95,020	7,648	102,669
剰余金の配当	—	—	△23,964	—	—	△23,964	△7,005	△30,970
自己株式の取得及び処分	—	165	—	△10,001	—	△9,835	—	△9,835
利益剰余金への振替	—	—	591	—	△591	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	△2,112	—	—	△2,112	—	△2,112
所有者との取引額合計	—	165	△25,486	△10,001	△591	△35,913	△7,005	△42,918
2024年3月31日残高	86,100	64,312	976,593	△71,390	79,267	1,134,882	59,228	1,194,110

当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計		
2025年1月1日残高	86,100	63,375	979,188	△54,064	86,969	1,161,569	65,017	1,226,586
四半期利益	—	—	30,672	—	—	30,672	3,301	33,974
その他の包括利益	—	—	—	—	△40,051	△40,051	△2,882	△42,934
四半期包括利益	—	—	30,672	—	△40,051	△9,378	418	△8,960
剰余金の配当	—	—	△24,441	—	—	△24,441	△6,048	△30,490
自己株式の取得及び処分	—	96	—	△10,000	—	△9,903	—	△9,903
利益剰余金への振替	—	—	△2,103	—	2,103	—	—	—
所有者との取引額合計	—	96	△26,545	△10,000	2,103	△34,345	△6,048	△40,393
2025年3月31日残高	86,100	63,472	983,315	△64,064	49,020	1,117,845	59,387	1,177,232

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	77,009	45,405
減価償却費及び償却費	20,465	21,305
減損損失	—	71
損失評価引当金の増減額 (△は減少)	△605	1,409
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,493	△3,811
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△2,421	3,263
金融事業に係る利息収益及び利息費用	△14,655	△14,316
受取利息及び受取配当金	△2,846	△2,861
支払利息	3,764	3,055
持分法による投資損益 (△は益)	△1,808	△1,639
有形固定資産及び無形資産売却損益 (△は益)	△136	△89
有形固定資産及び無形資産処分損益 (△は益)	128	131
販売金融債権の増減額 (△は増加)	△60,699	△63,494
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△36,996	△39,914
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,862	△9,368
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	2,584	23,695
その他	16,993	△6,442
小計	6,134	△43,600
配当金の受取額	1,386	556
利息の受取額	26,751	25,616
利息の支払額	△13,156	△11,739
法人所得税の支払額	△33,079	△18,967
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11,963	△48,134
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,753	△50
定期預金の払戻による収入	1,598	1,767
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△29,269	△28,107
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	2,079	1,641
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	—	△662
投資有価証券の取得による支出	△4,526	△784
投資有価証券の売却による収入	—	10,975
貸付けによる支出	△175	△1,117
貸付金の回収による収入	93	219
子会社の支配獲得による収支 (△は支出)	—	△252
その他	853	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,099	△16,361

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	110,730	100,858
長期借入れによる収入	10,769	41,630
長期借入金の返済による支出	△27,289	△39,741
リース負債の返済による支出	△3,848	△2,933
配当金の支払額	△23,964	△24,441
非支配持分への配当金の支払額	△160	△269
自己株式の純増減額 (△は増加)	△10,006	△10,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	56,230	65,098
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,022	△12,846
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	22,189	△12,243
現金及び現金同等物の期首残高	347,016	372,999
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	5,528	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	374,734	360,756

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第1四半期連結累計期間では、金融事業に係る利息収益及び利息費用に係る収支について、「税引前四半期利益」に含まれる金融事業に係る利息収益及び利息費用は「販売金融債権の増減額」及び「その他」に含まれる未収利息及び未払利息の影響を調整して、営業活動によるキャッシュ・フローの区分の小計に含めて表示していましたが、表示上の明瞭性を高めることを目的として、前連結会計年度における最初のIFRSに基づく連結財務諸表から、「金融事業に係る利息収益及び利息費用」として区分掲記して「税引前四半期利益」の調整項目とするとともに、営業活動によるキャッシュ・フローの区分の小計以下の「利息の受取額」及び「利息の支払額」にそれぞれ含めて表示しています。

なお、営業活動によるキャッシュ・フローの区分に一括して表示していました「利息及び配当金の受取額」は、上記の表示方法の変更に伴い利息収支の金額的重要性が増したため、前連結会計年度から「利息の受取額」及び「配当金の受取額」を区分掲記して表示しています。

この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書を組替えています。

この結果、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「販売金融債権の増減額」△60,999百万円、「その他」17,237百万円、「利息及び配当金の受取額」4,196百万円、「利息の支払額」△3,814百万円は、「金融事業に係る利息収益及び利息費用」△14,655百万円、「販売金融債権の増減額」△60,699百万円、「その他」16,993百万円、「配当金の受取額」1,386百万円、「利息の受取額」26,751百万円、「利息の支払額」△13,156百万円に組替えて表示しています。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	ランド モビリティ	マリン	アウトドア ランド ビークル	ロボティ クス	金融 サービス	計				
売上収益										
外部顧客への 売上収益	407,576	141,874	41,380	19,181	26,933	636,946	5,118	642,065	—	642,065
セグメント間の 内部売上収益 又は振替高	—	—	—	—	—	—	12,971	12,971	△12,971	—
計	407,576	141,874	41,380	19,181	26,933	636,946	18,089	655,036	△12,971	642,065
セグメント利益 又は損失 (△) (注) 3	52,528	25,453	△1,325	△3,721	6,127	79,062	△1,096	77,966	—	77,966
金融収益										4,442
金融費用										△5,399
税引前四半期利益										77,009

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、発電機、汎用エンジン、除雪機に係る事業を含んでいます。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益又は損失 (△) の合計は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	ランド モビリティ	マリン	アウトドア ランド ビークル	ロボティ クス	金融 サービス	計				
売上収益										
外部顧客への 売上収益	388,079	140,165	41,361	24,424	27,815	621,846	4,101	625,947	—	625,947
セグメント間の 内部売上収益 又は振替高	—	—	—	—	—	—	14,062	14,062	△14,062	—
計	388,079	140,165	41,361	24,424	27,815	621,846	18,163	640,010	△14,062	625,947
セグメント利益 又は損失 (△) (注) 3	27,777	19,779	△4,229	△1,389	4,054	45,991	△2,422	43,569	—	43,569
金融収益										5,130
金融費用										△3,293
税引前四半期利益										45,405

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、発電機、汎用エンジン、除雪機に係る事業を含んでいます。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益又は損失 (△) の合計は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2024年12月20日開催の取締役会において、長期的な成長のための基盤革新、米国がメインマーケットである事業の集約によるシナジー効果を目的に、2025年1月1日付で「アウトドアランドビークル事業本部」を新設する組織変更を決議しました。

この組織変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より、「ランドモビリティ」に含めていた「四輪バギー」、「レクリエーション・オフハイウェイ・ビークル」及び「その他」に含めていた「ゴルフカー」を「アウトドアランドビークル」に報告セグメントを変更しました。また、当該変更に伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しています。